

和光市政を耕す たがや 市政に新たな種をまき、
芽を育てよりよい街にしよう!

VOL. **35**

たけちゃん通信



吉田たけし 議会報告

平成30年 12月定例会 議会報告

2018年の流行語大賞が発表され「そだねー」が年間大賞に選ばれました。「そだねー」は、2月の平昌オリンピックで、カーリング女子日本代表チームの選手が交わした言葉で、私は心が和み、癒される言葉だと感じていました。また、一年の世相をひと文字で表す2018年の「漢字」は「災」でした。被災地の一日も早い復旧と復興を心よりお祈り申し上げます。

平成30年和光市議会12月定例会（議会）が、11月29日（木）より会期19日間の日程で開会し12月17日（月）に閉会致しました。今定例会には議案第63号から議案第72号までの10議案が上程されました。審議内容及び審議結果については、和光市議会ホームページにてご確認ください。

尚、和光市議会を広く市民の方々に公開し、より開かれた議事を推進するために、開催中の市議会の音声及び画像を記録し、インターネット上で公開しています。録画中継は、原則として本会議の翌日から起算して5日（土日を除き）以降に配信することになっています。



議案第68号平成30年度和光市一般会計補正予算（第3号）款8項3目4、公園費 公園整備（坂下湧水借地公園を返還することになった経緯について総括質疑を 致しました。地権者から用地を売却したいと申し入れがあったが、折り合いがつかなく購入することができなかったということでした。）

※和光市は現在区画整理事業や宅地開発、相続などで湧水、緑地が減っています。少しでも大切な自然を残していかなければいけないと思います。一度無くした自然を戻すことは難しいと思います。自然を大切に保存することも和光市にとっては重要な施策です。



吉田たけしが市政に対する一般質問をした内容（抜粋）



防災行政 防災行政無線不達地帯について

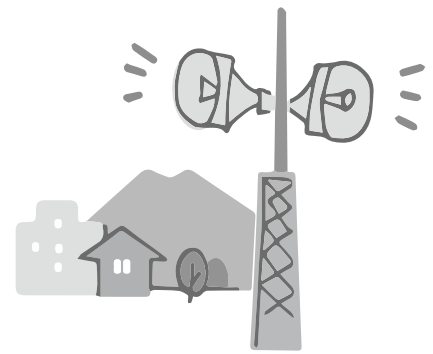
【質問】 防災行政無線は、災害時の情報伝達を市民の皆さんへ伝えるものであり、いざ災害が起こった時に、確実かつ迅速に情報を伝えることが、行政の重要な責務であり課題です。当市では、何年か前から防災行政無線不達地帯解消に取り組まれてきましたが、いまだに「防災行政無線が聞こえない」「聞こえにくい」「子局を増やせないか」という声を聴くことが少なくありません。当市の不達地帯解消に向けての取り組みと現状について伺います。

【答弁】 平成19年から平成24年の間に8基の防災行政無線の増設を行い、平成26年度から30年度の期間では、10基増設し、39基のデジタル化が完了する予定となっており、当初計画された不達地域の解消が図られる見込みとなっております。

【質問】 不達地帯解消に向けて新たに設置した個所も、地域の開発などにより、新たに高層建物や住宅などの建築により聞こえづらい箇所も出ているようです。今後の防災行政無線不達地域調査についてのお考えは。

【答弁】 防災行政無線の施設整備後に、区画整理の進展や新たな高層建物の建築、気密性の高い住宅の増加等の住環境の変化が生じ、音声不達地域調査後に、計画通りに防災行政無線を整備しても、時間の経過とともに聞き取りにくい状態が生じてしまうことを防ぐことはできません。随時、防災行政無線が聞き取りにくい地域の確認作業は継続して行い、スピーカーや音源の調整等により、聞こえやすさの確保を目指してまいります。

【質問】 いざ災害が起こった時に、確実かつ迅速に情報を伝えることが、行政の重要な責務であります。市内全域に漏れなく情報提供することは、現実的には不可能であると思います。現在さいたま市などでは、防災行政無線が聞きづらい方や聞き逃した方などを対象に、放送した内容をフリーダイヤルで確認することができるサービスや携帯電話やパソコンにメールでお届けするサービスを行っております。また、戸田市では、メールやスマートフォンのアプリによる情報発信を行っていますが、これと並行して、防災ラジオの活用を始めました。防災ラジオはAM、FMのラジオ放送を聞けるほか、市の防災行政無線放送と同じ内容が聞けます。また、コンセントをつないでおけば、防災行政無線放送があるたびに、自動的にスイッチが入り、災害時は電池で利用が可能で、難聴の障害がある方には、放送内容が文字で表示する機種もあるようです。戸田市では、市民負担三千元で配布、秩父市では、一世帯に一台を無償で貸与しています。当市もこのようなサービスを行ったらと思いますが如何か。



【答弁】 防災行政無線の放送内容をメールにより配信するサービスにつきましては現在、特に重要な案件のみですが配信を行っております。また、電話により放送内容を確認したいというニーズがあることは承知しておりますし、放送内容を確認したいと思っている方が能動的に行動に移すことができる大きな利点がございまして、電話サービス導入につきましては、前向きに検討してまいります。個別受信機の配布につきましては、災害時協定を締結している通信事業者が有償で個別受信機による防災行政無線放送受信サービスを提供しておりますので、事業者とも調整しつつ、他市の状況を研究してまいります。

【コメント】 地震災害はいつ起きてもおかしくないと言われております。「いざ災害が起こった時に、確実かつ迅速に情報を伝えることが、行政の重要な責務であります。」

公共施設 吹上コミュニティセンター、城山地域センターについて

【質問】 吹上コミュニティセンター、城山地域センター統合について、地域住民の皆さんからは両施設は地域のコミュニティの場として地域に重要なので残してほしいと言う意見・要望の声が多くあります。そもそも、この計画には、いろいろと問題があると思います。この話を進めるにあたって、両施設協力委員会で、市の決定なのでと一方的に進められてきたこと、協力委員会の皆さんは、決定と言われればどうしようもないと思ったとのことでした。また、協力委員会の皆さんは、このようなことを地域住民には伝えにくいこともあり、しっかりと伝えられていないようです。今回の進め方は少し強引だったのではと感じています。もう少し、しっかりと話し合い、要望を聞き、丁寧な説明が大切だったのではと思います。一方的に市の決定なので理解くださいでは、荒っぽすぎたと思います。城山地域センター利用団体の方々は、是非、城山地域センターを残してほしいと、「城山地域センター存続利用要望書」が先月5自治会から提出されました。吹上コミセンの方々も存続を希望しています。このことについて、再度一から進めて頂きたいと思います。城山地域センターは当時の経緯を知っている方も少ないようですが、城山地域センター存続についての考えと、吹上コミュニティセンターについての状況も伺います。

【答弁】 平成30年11月19日付けで、城山地域センターの管理協力委員会から存続に関する要望書が提出されるなど、議員ご指摘のとおり、ご理解いただける十分な説明に至らなかったものと認識をしております。つきましては、両センターとも、管理協力委員会の委員の他、利用者に対しても丁寧な説明を行い、協議、調整の上で進めてまいります。また、城山地域センターにつきましては、管理協力委員会から存続に関する要望書が提出されたことを踏まえ、要望書の内容を精査の上、城山地域センターの管理協力委員会や利用者との協議、調整をするなかで、今後のあり方について検討してまいります。

【コメント】 わたしたちの住む地域社会を、みんなの力で住み良くしていこうという願いを実現するためには、人々のふれあいや連帯を大切にして、生活環境の改善など地域社会の様々な分野で自主的な活動を進め、全地域的な活動へとその輪を広げていくことが必要です。和光市のコミュニティセンター及び地域センターは、このような地域の連帯を作るセン

ターとして、自由に集い、語り合い、学び、心のふれあいを作る場所として、自主的に活用していただく施設です。城山地域センター、吹上コミュニティーセンターは、地域にとって大切なコミュニティを築く施設です。

午王山遺跡の土地の件や下新倉小学校の産業廃棄物施設や隣接する資材置き場の用地取得についても言ったことを守らない、最後には財政状況が厳しいからの一言で終わらせる。

坂下湧水公園返還についても本当に購入する考えがあったのか疑問に思っています。



まちづくり 長期未着手土地区画整理事業について

【質問】 長期未着手土地区画整理事業区域の見直し検討についての現在の進捗状況について伺います。

【答弁】 基盤整備の投資計画や民間の開発の誘導方策などの新たな課題も見えてきたことから、一定の期間が必要になると思われます。

【質問】 地権者説明会や意向調査、地域整備構想の検討準備は遅れているということなのか、今後のスケジュールについて伺います。

【答弁】 検討を進めていく中で、区画整理の代替手法として、例えば、道路等の検討だけでなく、土地所有者に関するところでは、むしろ民間の開発誘導をどう行っていくかという事も詰めておかなければならないという事が新たに見えてきたという状況です。もう少しお時間をいただいて、この課題を検討していくという形になります。

【コメント】 あの地域は道路整備も進んでなく、火災や災害時に消防車両などが入りにくくなっています。また、宅地化が進んでいますが、公園などの整備も遅れていますので、早く決定して頂き、基盤整備することが重要です。



環境行政 タヌキ、アライグマ、ハクビシン対策について

【質問】 埼玉県、全国各地でアライグマ、ハクビシンの一年間の捕獲数、生息数が増加しているようです。当市においてもアライグマ、ハクビシンが急速に増えているようです。自治体の中では生育地や主要経路を調査し、特定した上での捕獲、駆除を数年に渡り業務委託を行っている自治体も多くあります。タヌキやアライグマ、ハクビシンの駆除を今しっかりとした対策が必要と考えますが如何か。

【答弁】 タヌキ、アライグマ、ハクビシンの調査・捕獲・駆除に関する業務委託については、依頼者への協力事項、また業務委託の内容及び市がどこまで財政的な負担をするのかなど、検討を要する部分が多いことから、県や他市の動向等を調査・研究し、慎重に判断してまいりたいと考えております。

【コメント】 全国各地でアライグマ、ハクビシンの生息数が増加しています。今後もほおっておけばもっと多くなると考えられます。その前に手を打っておくことが大切です。



防犯行政 防犯カメラ設置状況について

【質問】 私も防犯活動についての講演会や研修会にできるだけ出席するようにしています。ある研修会の中での報告で、自動販売機を活用した防犯カメラを設置する自治体が増えていることの報告がありました。この事業は、事業者へ自販機の設置を許可し、事業者は、自販機の手数料を活用して、依頼者の負担無しに防犯カメラが設置でき、自販機の契約期間中は、保守点検も含まれています。また、自販機とカメラの設置個所が離れていても大丈夫という利点があります。現在、50以上の自治体や自治会が採用しているようです。他市では、自販機を活用した防犯カメラの設置に関する協定を締結し活用しています。当市においても、より一層の安全・安心なまちづくりの為にぜひ活用したらと提案いたしますが、如何か。

【答弁】 防犯カメラ付き自販機の設置に関する条件や防犯カメラの記録媒体の管理等、導入に向けましては検討すべき課題が複数あると認識しております。施設管理課や自動販売機を総合管理する課など庁内の関係各課とも連携し、他市の導入実績や導入効果等を研究してまいります。

【コメント】 防犯抑止効果というものは、「地域による見守りの目に勝るものはない」



という話もありますが、地域の防犯活動には限りがあると思います。今、防犯カメラの設置は防犯対策、防犯抑止力には大変効果があります。先ほどの提案について取り組んでいる自治体は、埼玉県では、熊谷市、小川町、杉戸町が取り組んでいます。是非当市でも活用を検討していただきたいと思います。

2018クレイジーハロウィン事件と名前が付いた事件でも、あの人込みで仮装している人ばかりのなかよく警察は犯人特定にこぎつけたと思います。

日本の警察はすごいですね。

捜査方法は防犯カメラ250台を解析をし、聞き込みやトラックについていた指紋などで追跡したそうです。



自転車文化 市役所の自転車の活用状況について

【質問】 当市は、市長が就任時に、自転車市役所としていち早く始めたことと認識しています。職員用の自転車保有数と利用状況について伺います。

【答弁】 市では、職員への貸出用に総務人権課で所管している自転車が7台、各課所等で所管している自転車が13台、計20台の自転車を所管しております。

活用状況としましては、平均で1台につき週2回ほど使用しております。

職員が職務において使用することで、温室効果ガスの削減、防犯意識の向上等、自転車使用の効果については、十分に認識しているところです。

今後につきましても、近距離の移動には自転車の使用するなど、自転車の利用を推進してまいります。

【質問】 当市はロードバイクの通過点、荒川河川敷サイクルロードへの入り口となっております。荒川河川敷ロードバイクロード隣接自治体では、ロードバイクスタンドなどを準備し、市内の魅力などをアピールし、市内飲食店などの利用を促進しています。当市にもそのような取り組みをしたらと考えますが、如何か。

【答弁】 埼玉県でもサイクリングロードマップを整備するなど、自転車利用を促進しています。市でも、今後、各課所等に自転車の活性化促進の取り組み等を紹介していきたいと考えております。

【コメント】 「自転車を活用したまちづくりを推進する全国市町村の会」設立総会が11月15日、東京都文京区で開催されました。自転車によるまちづくりに積極的に取り組む全国294の自治体が会員となり、各市町村長など276人が参加しました。今回の取り組みは自転車による観光振興、住民の健康増進、交通混雑の緩和、環境負荷の低減等により公共の利益を増進し地方創生を図ろうとする自治体が連携。日本の自転車文化の向上、普及促進を図るとともに地方創世の推進をさせようとするものです。当市は一番初めに自転車市役所を始めたことと認識していますので、今後このような会に、積極的に参加して頂き、自転車を職員が使用するときには、市民の見本となる自転車マナーをパフォーマンスして頂き、市民の自転車マナー向上に務め、自転車を活用したまちづくりを推進して頂きたいと思います。

質問内容等は、和光市議会ホームページ議会会議録検索システムを利用しご確認ください。

市政に対するご意見・ご要望、またなにかの時には、なんでも遠慮なく相談下さい。皆さんと一緒に考えて行きます。

この会は、吉田たけしさんを中心に明るく、楽しく元気なまちづくりを目的に、会員相互の研修と親睦を行なっています。入会無料です。入会いただける方は右記にご記入の上、この面をFAXでお送りください。どうぞお気軽にご加入ください。



吉田たけし後援会 会長 柳下 茂
〒351-0111 埼玉県和光市下新倉4-15-1
TEL.048-424-3517 FAX.048-462-9369
<http://www.takechan-yoshida.jp>

お名前

ご住所

ご連絡先電話番号

携帯

メールアドレス